

(5頁の続き)



玲音(2年機械科)ペアだが、代表の中でも下位での位置づけのため組み合わせが厳しかった。1回戦で前衛が1年生ながら県代表の渋川高校(群馬)ペアに勝ち、2回戦で強豪・木更津総合高校ペア(千葉2位)をゲームカウント4-2で破った。シード選手に勝つたため勝ち進むことが期待される中、3回戦で昨年度インターハイ団体に出場している昌平高校ペア(埼玉5位)に勝って4回戦に進出した。その4回戦では秦野高校ペア(神奈川3位)に1-3とリードされるが、3-3のファイナル(硬式のタイブレーク)まで追いつく。一時リードし勝ちも見えたが、相手の我慢と攻撃への転換が上回り惜敗となった。結果、140ペア中ベスト32という結果であったが、平成30年に出場の際は初戦敗退昨年度(本間は2年連続出場)は3回戦敗退である中、強豪に勝って4回戦まで進めたことは大きな自信となった。選手層や練習環境で大きな差がある中、そのような勝負ができ

### 前期中間試験

たことはなかなか経験できることではない。今後の人生や会社生活に活かして欲しいと思う。

日専校は二期制であり、年間に定期試験が前期と後期に各2回ある。6月8日、9日の2日間、今年度最初の定期試験の前期中間試験を実施した。試験は各科目で40点以上が合格、未滿だと不合格で再試験となる。また、総得点を科目数で割った平均点で45点以上が合格となる。定期試験では毎回1週間前になると、試験準備期間と称して学校や寮では受験の雰囲気になる。特に1年生にとっては入学して初めての定期試験であり、高校からの新しい科目がほとんどで、早めに試験勉強に取り組んでいたようである。2、3年生では、クラスや部活動単位での学習会の実施や、教え合う雰囲気があり、こうしたところでも学校の重要取り組みである「考動アクション」の実践が活かされている。試験は終了次第教員により採点され、生徒へ返却後に各教科の得点が確定される。その結果は後日、ITサポートシステム「Classi」を通じて保護者の皆様へ報告する。

### 1年生成沢霊園戦災殉職者慰霊

6月9日13時半から、日立事業所



の「戦災の日(6月10日)」に先立ち、1年生による成沢霊園への慰霊参拝を実施した。日専校から成沢霊園までは徒歩で移動。現地で戦災の説明を受けた後、「諸精霊之碑」および戦没者氏名が記された「陶輪碑」に参拝し、戦没者慰霊を行った。この慰霊参拝を通して生徒たちは、日立の戦災の歴史を知るとともに、平和のありがたさを実感している様子であった。時代とともに戦争の記憶がうすれゆくなか、日専校の生徒たちには平和への思いを新たにしてもらうため、今後も成沢霊園への慰霊参拝は継続していく。

### GLS(多賀)での

### 日専校説明会

6月2日に日立グローバルソリューションズ多賀事業所に

て日専校の学校説明会を開催した。今年度より開始した各事業所における説明会だが、GLS(多賀)は4事業所目。日専校から最も近い位置にある事業所であるため、従業員の関心の高さが期待された。しかし、当日は台風2号の接近によるあいにくの荒天で直前までリスケジュールの必要も頭によぎったが、始まってみれば愛ある卒業生をはじめ10名以上のご来場をいただくことができた。7月からは本校で計4回のオープンスクールが開催される。中学生のお子さんがある方は、ぜひ懐かしい母校を我が子とともに訪れてみてほしい。



### トヨタ工業学園交流会

6月13日から14日にかけて、日専校でトヨタ工業学園と交流会を

施した。トヨタと日立、双方の成長につながる機会作りを目的とし、職場で即戦力になるために何が必要かを考え、日常の取り組みにつながることを目標とした。いままでの交流会から具体的に取り組んできた内容の共有と、振り返りを実施した。グループディスカッションでは、生徒会、寮役員、部活リーダーと3つのカテゴリーに分かれ、活発な意見交換をした。次に繋がる新たな目標を決め、日常生活での実践に繋げていく。今後も定期的に交流会を重ねていき、日専校生としての「あるべき姿」に近づけていきたい。

### 2年機械科 栗林 佳奈

私は今回のトヨタ工業学園との交流会を通し、実際に今の自分に不足している力は何か気づくことができました。質問力や行動力、目上の方に対するコミュニケーション能力、気配りの大切さ、他にも多くのことに気づくことができました。ミックス交流では緊張してしまい、一つしか質問することができませんでした。しかし、先輩方は指導員の方々と程よい緊張感を持ち、深い話をしており、先輩を尊敬するとともに自分もそうなりたいと思いました。生徒同士では、ディスカッションを行い、日専校との相違点を知り、視野を広めることができました。また、移動

(7頁へ続く)